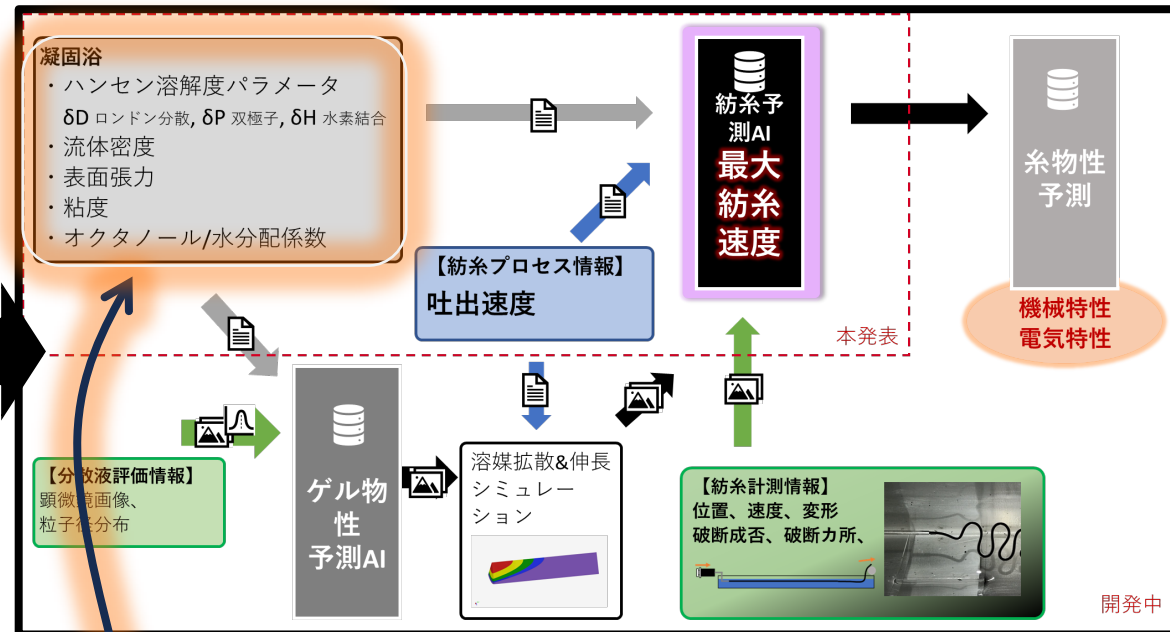
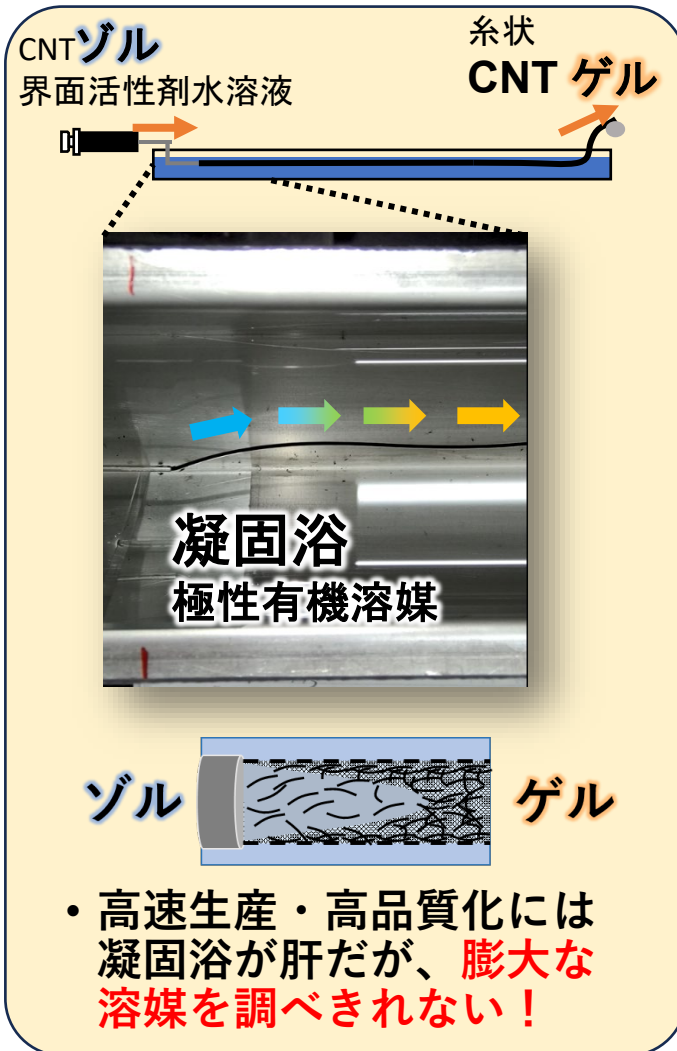


メカノ応答材料研究グループ 加藤雄一（代表）・〇堀内哲也

カーボンナノチューブ糸用の溶媒探索AI

-我々はナノ材料自体ではなく、**材料の持つ特性を見える化**します-



- ここにある**7次元超のパラメータ**を人間が分かるように**可視化**することは**通常は不可能**です。しかし我々は**AI**による相関計算により、重要な情報を探索し、**新たな実験条件**を確率計算によって提示します。
- 経験に頼った開発の中で、**暗黙知の一部を形式知**にする。これが**我々が考える見える化**です。